

# 鹿児島県介護生産性向上総合相談センター (かごしま介護ロボット等相談窓口) \かごロボ/

## 令和7年度実績報告

---

鹿児島県が実施する「令和6年度介護生産性向上推進総合事業」の一環として県社会福祉協議会が運営を受託（令和6年6月1日開所）

## かご ＼ロボ／ のロゴに込めた想い

- ≫ 二段構えの姿は、「かごしまの介護」を「介護ロボット」が優しく支え、一歩前に進める様子
- ≫ **かご**の赤は、鹿児島島のシンボル火の島「桜島」、介護される方の命の温もり・輝き、介護に携わる方の温かい心・情熱
- ≫ **ロボ**の青は、賢くクールで頼もしいロボットをイメージしています。

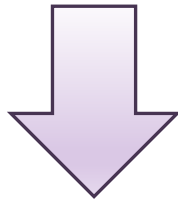
# 開所に至る背景

- ・ 介護人材の不足が社会的課題

本県においても、2040年には約8,100人が不足と推計

- ・ 介護現場の生産性向上はその解決策の1つ

介護職員が働きやすい職場づくりや介護サービスの質の向上を目的に、介護ロボット等のテクノロジーを活用した業務改善や効率化等の取組を推進



介護ロボットなど福祉用具  
約600点の展示・紹介を行  
っている「介護実習・普及セ  
ンター」内に開所



# かごロボのイメージ

## 【 介 護 事 業 所 】

かご  
ロボ



相談

【介護実習・普及センター】



回答

ワンストップ型相談窓口(介護生産性向上総合相談センター)

業務  
アドバイザー

介護ロボット・  
ICT等に関すること



連携

## 《 関 係 機 関 》

(相談例)

介護人材の確保に関すること

雇用管理・労務管理に関すること

経営に関すること

各種支援策に関すること

# 介護現場の生産性向上とは



# 生産性向上の7つの打ち手(手段)

## ① 職場環境の整備

取組前

取組後



## ② 業務の明確化と役割分担 (1) 業務全体の流れを再構築

介護職の業務が  
明確化されて  
いない

業務を明確化し、  
適切な役割分担を  
行いケアの質を向上



## ② 業務の明確化と役割分担 (2) テクノロジーの活用

職員の心理的  
負担が大きい

職員の心理的  
負担を軽減



## ③ 手順書の作成

職員によって異なる  
申し送り

申し送りを  
標準化



## ④ 記録・報告様式の工夫

帳票に  
何度も転記

タブレット端末や  
スマートフォンによる  
データ入力（音声入  
力含む）とデータ共有



## ⑤ 情報共有の工夫

活動している  
職員に対して  
それぞれ指示

インカムを利用した  
タイムリーな  
情報共有



## ⑥ OJTの仕組みづくり

職員の教え方に  
ブレがある

教育内容と  
指導方法を統一



## ⑦ 理念・行動指針の徹底

イレギュラーな  
事態が起こると  
職員が自身で  
判断できない

組織の理念や行動  
指針に基づいた  
自律的な行動



# (1) 相談受付

介護事業所からの生産性向上(業務改善・効率化等)に関する様々な相談に対応

---

## 【相談体制】

・かごロボ職員

所長ほか窓口担当職員(3名)

・業務アドバイザー

鹿児島大学医学部保健学科 作業療法学専攻 助教 吉満 孝二 氏

鹿児島医療技術専門学校 作業療法学科副学科長 藤田 賢太郎 氏

障がい者GHヒバリーヒルズ池之上 リハビリテーション課長 平嶋佑太郎 氏

## 【相談実績】

・相談受付フォーム受理件数71件

介護老人福祉施設23件 介護老人保健施設15件 通所介護7件 GH4件

その他22件(うち開発企業14件)

・電話、メール又は来所等による相談件数 2,383件

# 相談内容

---

## 【介護事業所から】

- ・ 介護テクノロジーの体験・試用貸出
- ・ 介護テクノロジー導入に係る基本的な情報収集(種類・価格等)
- ・ 生産性向上の取組手法、課題の分析等
- ・ 導入予定ソフトの活用方法
- ・ 各種支援策(生産性向上推進体制加算・補助金等)

## 【開発企業から】

- ・ 試用貸出の期間や謝金など制度関係
- ・ 開発した介護テクノロジー機器・システムの展示要請
- ・ 助成金・補助金等の情報収集(募集時期等)

## (2) 介護テクノロジーの体験展示

- ・ 介護テクノロジー機器・システム26点を常設展示
- ・ 1,653人が体験



認知症生活支援・認知症ケア支援ロボット  
LOVOT



移動支援ロボット アシストウォーカーRT.3



移乗支援ロボット(非装着型)SASUKE



介護ICTコーナー

## (2)-2 介護ロボット出張展示相談会

ア 日時 令和7年7月28日(月) 13:00~16:00

イ 場所 アマホームPLAZA(奄美市)

### ウ 内容

○ 挨拶及びセンターの事業概要 かごロボ所長 田中 正浩

○ 講話

・「介護ロボットによる生産性向上の取組 ~持続可能な介護サービスと人材確保のために~」 業務アドバイザー 吉満 孝二 氏

・「介護ロボット~その特徴と効果~」 業務アドバイザー 藤田 賢太郎 氏

○ 介護ロボット体験  
(午後)



エ 参加状況 27名

# (3) 介護テクノロジーの試用貸出

介護事業所からの試用貸出依頼を受けて、開発企業からの貸出について調整



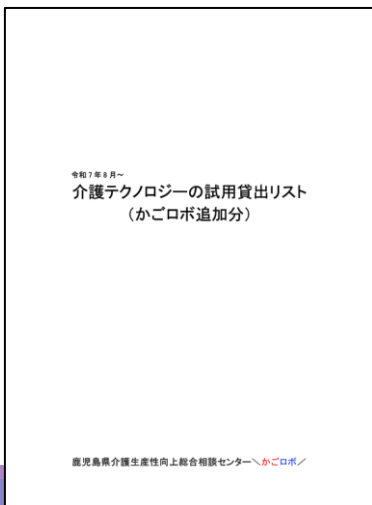
## 【試用貸出の対象】

- ・ 厚生労働省作成「介護テクノロジー試用貸出リスト」掲載の介護テクノロジー81点
- ・ 本県独自のリスト「かごロボ追加分」に掲載の介護テクノロジー 10点

※本県の追加リストは、厚労省リストにないものの、TAISに介護テクノロジーとして登録があり、開発企業が掲載を希望したものが対象。

## 【試用貸出の状況】

- ・ 決定件数 40件
  - 移乗支援 24件
  - 移動支援 1件
  - 見守り・コミュニケーション 11件
  - 排泄支援 2件
  - 介護業務支援 2件



# (4) 研修会の実施

## ○ 第1回介護生産性向上に関する研修会(経営者対象)

ア 日時 令和7年6月5日(木) 9:30~12:00

### イ 内容

○挨拶及びセンターの事業概要 かごロボ所長 田中 正浩

○行政説明「介護テクノロジー導入支援事業ほか」県介護保険室主査 出之口 大輝氏

○講義「介護生産性向上の取組」～持続可能な事業運営と人材確保のために～  
業務アドバイザー 吉満 孝二氏

### ○基調講演

「利用者ファーストのための職員ファースト」  
～生産性向上で働きやすい環境づくり～

社会福祉法人弘陵福祉会  
特別養護老人ホーム六甲の館  
理事長・施設長 溝田 弘美氏

### ウ 参加状況

会場参加:31名 オンライン参加:175名



基調講演の様子

# ○ 第2回介護生産性向上に関する研修会(実務者対象)

ア 日時 令和7年8月28日(木) 9:30~15:00

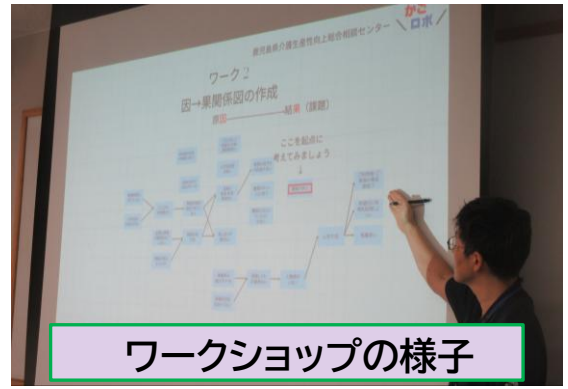
## イ 内容

○挨拶及びセンターの事業概要 かごロボ所長 田中 正浩

## ○講義

「ワークショップ:介護現場の課題の見える化に取り組もう」

業務アドバイザー 吉満 孝二 氏  
業務アドバイザー 藤田 賢太郎氏



ワークショップの様子

## ○講演

「AI・ICTを活用した間接業務効率化のテクニック」

合同会社オートケアCEO 岸田 隆之氏



講演の様子

○介護テクノロジー体験及び相談(午後)

## ウ 参加状況

会場参加: 29名 オンライン参加: 61名

# ○ 第3回介護生産性向上に関する研修会(伴走支援報告)

ア 日 時 令和8年2月27日(金) 9:30~12:00

## イ 内 容

○開会挨拶

かごロボ所長 田中 正浩

○導入「伴走支援振り返り」 業務アドバイザー 吉満 孝二 氏

○実践報告

- ・ 特別養護老人ホーム慈眼寺園(鹿児島市)
- ・ 介護老人保健施設シルバータウン加治木(始良市)
- ・ 特別養護老人ホームルーピンの里(東串良町)

○ディスカッション「～実践報告を受けて～」

業務アドバイザー 吉満孝二氏 藤田賢太郎氏

今年度実践報告者 慈眼寺園 シルバータウン加治木 ルーピンの里

前年度実践報告者 GH愛愛:今田氏 ビハーラ:寺田氏

## ウ 参加状況

会場参加:35名 オンライン参加:123名

## (5) 伴走支援

生産性向上の取組を実施しようとする介護事業所を選定し、業務アドバイザーが実態に応じた取組手法について助言

---

### ア 選定方法

令和7年6月5日に実施した経営者向け研修において伴走支援を希望した事業所の中から、地域バランスや施設種別バランスなどを勘案し、関係団体のご意見も参考に次のとおり決定した。

### イ 選定事業所

特別養護老人ホーム慈眼寺園(鹿児島市)

介護老人保健施設シルバータウン加治木(始良市)

特別養護老人ホームルーピンの里(東串良町)

### ウ オンライン合同説明会(7/1)

プロジェクトチームの編成、事前職員アンケートの実施依頼

# 伴走支援の手順

実行計画の立案、改善活動の取組、改善活動の振り返り、実行計画の練り直しといった形でPDCAサイクルを回していく。

## 6つの手順

P	改善活動の準備	プロジェクトチームの立ち上げ、アンケートの実施
	現場課題の見える化	アンケートやブレインストーミングによる課題抽出
	実行計画の立案	優先課題の決定、課題解決に適した介護テクノロジーの選定
D	改善活動の取組	試用貸出による介護テクノロジーの試行的導入、マニュアルの作成
C	改善活動の振り返り	試用後の評価、業務の見直し
A	実行計画の練り直し	マニュアル改定

# ○ 特別養護老人ホーム 慈眼寺園(鹿児島市)

- 7/22 初回訪問 アンケート結果及びブレインストーミングによる課題抽出
- 8/ 1 アドバイザーによる課題分析、改善方針シート作成依頼
- 9/ 4 改善方針シートを基に、課題の深掘りを実施
- 9/17 かごロボにおける介護テクノロジー見学・体験
- 10/ 4 優先課題の検討・決定  
(入浴介助における身体的・精神的負担の軽減)
- 10/10～ 介護テクノロジーの試用貸出
  - ・SASUKE(移乗支援・非装着型)      ・FonLog(介護業務支援)
- 1/12～ 試用後の評価、振り返り、伴走支援報告書の作成等
- 2/27 第3回研修会で伴走支援報告

初回訪問の様子(ブレインストーミング)



介護テクノロジー見学の様子



# ○ 介護老人保健施設 シルバータウン加治木(始良市)

- 8/ 6 初回訪問 アンケート結果及びブレインストーミングによる課題抽出
- 8/ 8 アドバイザーによる課題分析、改善方針シート作成依頼
- 9/25 改善方針シートを基に、課題の深掘りを実施
- 10/ 4・16 かごロボにおける介護テクノロジー見学・体験
- 10/16 優先課題の検討・決定(移乗介助における身体的負担の軽減)
- 10/26～ 介護テクノロジーの試用貸出
  - ・SASUKE、介護リフトつるべ(移乗支援・非装着型)
  - ・J-PAS freaily、マッスルスーツ Soft-Power(移乗支援・装着型)
- 1/ 9～ 試用後の評価、振り返り、伴走支援報告書の作成等
- 2/27 第3回研修会で伴走支援報告

初回訪問の様子(ブレインストーミング)



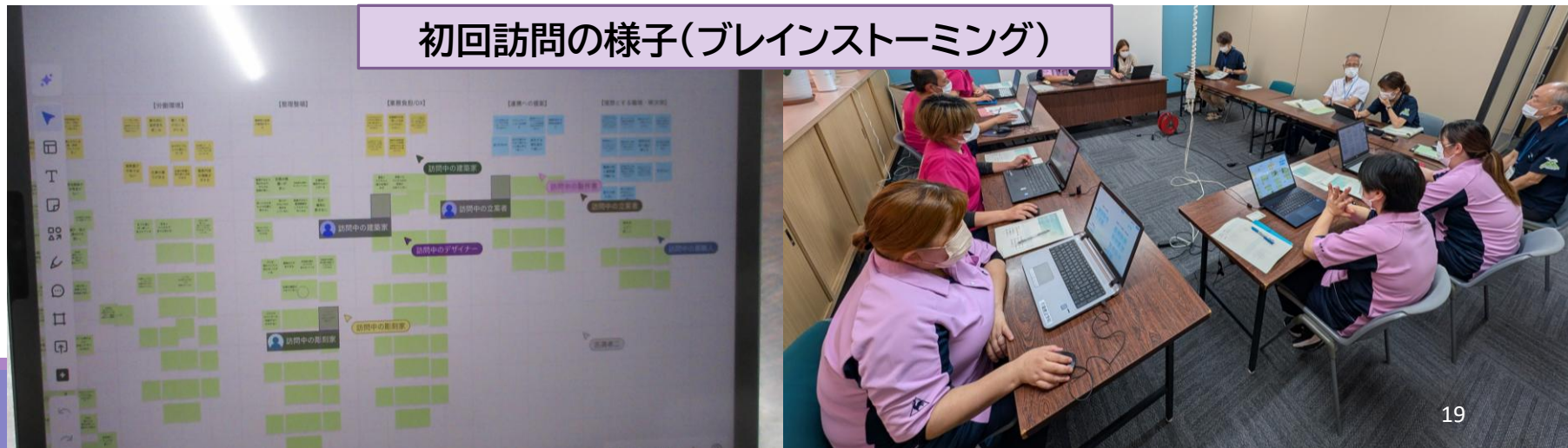
介護テクノロジー見学の様子



# ○ 特別養護老人ホーム ルーピンの里(東串良町)

- 9/ 3 初回訪問 アンケート結果及びブレインストーミングによる課題抽出
- 9/ 8 アドバイザーによる課題分析、改善方針シート作成依頼
- 10/ 3 改善方針シートを基に、課題の深掘りを実施
- 10/31 優先課題の検討・決定  
(チームワーク(協力体制)の確立、入浴介助における身体的負担の軽減)
- 11/6～ 介護テクノロジーの試用貸出
  - ・SASUKE(移乗支援・非装着型)
  - ・FonLog(介護業務支援)
- 1/21・22 SASUKEの現場との物理的不適合が判明。介護テクノロジーを再検討
- 2/4 介護リフトつるべ-Y6に変更し、試行的導入等のスケジュール組み直し
- 2/20～ 伴走支援報告書(中間報告)の作成、再度の試行的導入(3月～)に向けた協議
- 2/27 第3回研修会で伴走支援報告(中間報告)
- 3/10～ 試用後の評価、振り返り、伴走支援報告書(最終報告)の作成等

初回訪問の様子(ブレインストーミング)



## (6) 生産性向上の関連情報の収集・提供及び事業の周知

### ○ 情報の収集・提供

---

- ア 介護現場における生産性向上推進フォーラム等に参加  
国が主導する介護現場における生産性向上推進フォーラムや勉強会(オンラインで毎月開催)、全国・九州ブロックの連絡会議等に参加し、介護テクノロジー等に関する最新の情報を収集
- イ かがロボホームページ等で情報提供  
上記アなどにより収集した情報を、ホームページ(県社会福祉協議会のかがロボ専用ページ)等で提供


## ○ 事業の周知

### ア チラシの作成・配布

介護ロボット等相談窓口の案内チラシを作成し、介護事業所等に配布 作成部数 11,000枚

### イ ホームページ、広報誌等による情報発信

かごロボホームページや広報誌「ふくしのひろば」等を通じ、介護テクノロジー等に関する様々な情報を発信

 新着情報

すべて

お知らせ

研修情報

-  2025-06-28 [介護生産性向上に関する研修会\(第1回\)の録画映像の掲載について](#) [研修等]  
-  2025-06-25 [介護ロボット出張展示相談会開催のお知らせ](#) [研修等] 
-  2025-06-24 [業務アドバイザーの出勤予定日\(7月\)を掲載しました!](#) [お知らせ]

# ○ 介護ロボット鹿児島フォーラム

「快護生活フェス！ 福祉機器展&セミナーinかごしま」において開催

ア 開催日 令和7年10月3日(金)・4日(土)

## イ 内容

- ① 介護ロボット等の展示・体験会(快護生活フェス!の期間を通して開催)
- ② 特別講演会 10月4日(土) ※参加状況 35名  
「介護ロボット定着への道のり～定着に必要な“理念”と業務効率化の中でも忘れてはならない“介護の本質”」

講師:社会福祉法人野の花会 アルテンハイム加世田施設長 楠元 寛之氏



展示・体験会の様子



特別講演の様子

## (7) ネットワークの構築

### ○ 全国連絡会議

全国のセンター担当者が集まり、意見交換を行うとともに、ネットワーク構築に努めた。

---

### ○ 生産性向上全国担当者連絡会議

「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」

- ・ 日時 令和8年3月10日（火）14時～16時
- ・ 会場 オンライン開催
- ・ 内容 行政説明（厚生労働省ほか）、相談窓口の取組報告等

## ○ 九州ブロック連絡会議

九州各県のセンター担当者が集まり、意見交換を行うとともに、ネットワーク構築に努めた。

---

### ア 九州ブロック担当者連絡会議

「介護現場の生産性向上に向けた介護ロボットの開発・実証・普及広報のプラットフォーム事業」

- ・ 日時 令和7年10月14日（火）14:00～16:00
- ・ 会場 八重洲博多ビル ホールA（ハイブリッド開催）
- ・ 内容 政策動向（厚生労働省）、各県の取組状況の発表・意見交換等

### イ 九州介護イノベーション推進会議

- ・ 日時 令和7年12月4日（木）13:30～17:00
- ・ 会場 カクイックス交流センター（ハイブリッド開催）
- ・ 内容 生産性向上に係る課題・解決策についてのディスカッション